

「わけにはいかない」わけの分析

富 阪 容 子

1. はじめに

「わけにはいかない」は「ことができない」で代用できない独自の存在理由を持っていると考えられる。次の文を例にとって、両者の違いを観察してみよう。

- (1) a. 運転することができない。(運転できない)
b. 運転するわけにはいかない。

車の運転能力を持たないことを表現するには(1 a)を用いる必要がある。「酒を飲んだからまっすぐ歩くことができない」と言うが、「酒を飲んだからまっすぐ歩くわけにはいかない」とは言えない。「わけにはいかない」を用いた文は「能力可能を前提とした状況不可能文」¹⁾である。もともと能力が備わっていないことを意味するのではなく、現状から考えると何らかの差し障りがあることを伝える機能がある。状況や事情が妨げとなったり、自分の置かれた立場上(外的要因から)その行動が制限されることを示す。外的要因とは(1 b)の場合、たとえば「免許がない」「免許証を所持していない」「ケガをしている」「酔っぼらっている」等々が考えられるだろう。

「わけにはいかない文」²⁾が用いられる仕組みを明らかにするために次の三要素を想定する。

P「五時になった」 Q「帰宅する」 R「仕事が残っている」

これらを組み合わせることによって以下のような文が作られる。

- (2) a. 帰宅するわけにはいかない。 Q
b. 五時になったからといって帰宅するわけにはいかない。 P+Q
c. 仕事が残っているのだから帰宅するわけにはいかない。 R+Q
d. 仕事が残っているのだから五時になったからといって帰宅するわけにはいかない。

R+P+Q

(2 d)のようにPQRの要素がすべて揃えば内容の理解が容易になるが、(2 a)～(2 c)のようにいずれかの要素が省略されたり、暗示にとどまったりすると、日本語学習者にとって理解が困難になる。文脈からか、或いは言外の要素から内容を汲み取る必要があるわけだが、それらはその社会独特の暗黙の了解に基づいていることがしばしばあるためである。

PとQの組み合わせから「わけにはいかない文」が作られる論理関係のプロセスを次節で考察することにする。また「からといって」という接続表現が用いられる理由についても考えてみたい。更に第3節では、RとQとの関係に着目し、Rが出現する位置と形式を観察し「わけ

者を「なるはず推論否定」と名付けることにする。

次に「名詞句+というわけにはいかない」の形式をとるものについて考えてみる。

- (5) a. A: 結婚することにしたんです。
 B: ジャ、「めでたしめでたし」ですね。
 A: いいえ、そういうわけじゃありませんよ。
- b. A: 結婚したんです。
 B: ジャ、「めでたしめでたし」ですね。
 A: いいえ、そういうわけにはいきませんよ。 (なるはず推論否定)

ここで「わけではない」と「わけにはいかない」との違いは、前者が現状否定であるのに対して、後者が今後の事態展開に関する否定であるという点である。後者は「物事はそんな展開はしないものだ」という話者の判断をも含んでいる。両者とも「聞き手による推論の否定」であるという点では共通しており、聞き手の早急な結論を戒める目的で使用されることが多い。しかし、次のように望ましくない事態が展開する時に「名詞句+というわけにはいかない」を用いることには無理がある。

- (6) a. A: 四面楚歌だ。
 B: ジャ、万事休すだな。
 A: いいえ、万事休すというわけじゃない。まだ希望はある。
- * b. A: 四面楚歌だ。 (*は非文を表す)
 B: ジャ、万事休すだな。
 A: いいえ、万事休すというわけにはいかない。まだ希望はある。

「行く」という動詞を辞書で調べてみるとさまざまな定義が見られるが、次のような用法が含まれており、これらが「わけにはいかない」の「いく」の意味に近い。

- (7) a. 事が運ぶ 例: なかなかうまく行かないものだね。
 b. 満足した状態になる 例: 満点とは行かない (プログレッシブ和英)

「わけにはいかない」とは「そのように物事が運ばないこと」「そのような満足した状態にはならないこと」を意味する。ここで大切なことは「わけにはいかない」はその発話時かそれ以降に発生する事態について述べる表現だということである。(7a)のルールはすべて「わけにはいかない文」に適用されるが、(7b)は上記の(5)や(6)のような「名詞句+というわけにはいかない」の場合にのみ適用される。

次に、PとQがどのような接続表現で結びつけられるかについて観察してみよう。前掲の(3)の対話を「から」を用いて一つの文にすると次のようになる。

- (3') a. 熱があるから、休むわけではないんです。
 * b. 熱があるから、休むわけにはいかないんです。

(3'a)は曖昧さは残るものの、このままでもなんとか意味が通じそうであるが、(3'b)はこれでは意味が不明瞭である。「休むわけにはいかない」こと理由は「熱があること」ではない。「熱があるからという理由で休めない」という意味内容伝達には、次のように「からと

いって」という接続詞の使用，または引用句「という」の使用が必要となるだろう。

(3') c. 熱があるからといって休むわけにはいかないんです。

d. 熱があるから休むというわけにはいかないんです。

本稿冒頭の(2d)の例で，同一文中に「からといって」と「から」が用いられていることを見ても，両者が異種の接続詞であることがわかる。「からといって」は推論否定や当為推論否定などを導くための専用の接続表現だと言ってもよいだろう。

(3'b)が意味不明なのに対して(3'a)がこのままでも意味が通じる原因は「わけではない」と「わけにはいかない」の構造上の違いにあるものと思われる。「わけではない」は「わけだ」に対応する否定表現であることからわかるように，「わけ」が前項全体(熱があるから休む)を一つの名詞節としてとらえなおすという働きを保持している。一方，否定専用表現の「わけにはいかない」は話者の心的態度を示す役割が突出しており，「わけ」が本来持っている構造的な役割が縮小化されているのではないだろうか。

3. 事情を示す文脈

ある日本語の教科書には「わけにはいかない」について，次のような説明がある。

(8) This pattern means that one cannot do something due to a social or situational reason. (I. M. J. Grammar Notes)

ここではごく簡潔で大まかな説明として“due to a social or situational reason”(社会的，状況的な理由)という表現がなされているに過ぎず，もっと詳しい説明が求められるだろう⁶⁾。本節では「わけにはいかない」の「わけ」が何を指しているかについて考察したい。次の例では「そういうわけにはいかない」の代わりに「そもいかない」が使われているが，同じ働きをしていると見なされる。

(9) 私，本当は大学へ行きたかったんです。でも，家庭の事情でそもいかず商業高校に行ったんです。(人間交差点)

この例で「わけ」が省略されているのは「わけ」と「事情」が意味的に重複するからであり，「わけ」は事情を指していると考えることができよう。(9)では「家庭の事情で」という部分が大学進学不可能の理由を示しているが，一般の「わけにはいかない文」では事情を示す部分はどこに，どのような形で表れるのだろうか。第2節の(3b)の例をもう一步展開してみよう。

(3"b) A: 熱があるんです。

B: ジャ，休んだ方がいいですね。

A: そういうわけにはいかないんです。

B: どうして?

A: 大事な約束があるんです。

事情を示す部分はこの対話文では下線部に表れている。更にもう少し例を挙げる。

(10) a. 仕事をやめるわけにはいかない。子どもが死んじゃいます。(朝)⁷⁾

b. 「来年，またきつとね」と声をかけられるとやめるわけにはいかなかった。(朝)

- c. 観光客の需要は多く、経営にも影響するので、やめるわけにはいかない。 (朝)
- d. うちだけビジネスをやめるわけにはいかない。しかし、業界全体でわかりやすい態勢を作る必要がある。 (朝)
- e. ハンガーストライキを始めたことについて遺憾に思うし、心配もしているが、だからといって建設事業をやめるわけにはいかない。 (朝)

(10a)～(10c)はやめられない事情が下線部に示されている。ここに示されている人道的、人情的、経済的などの事情は普遍的と呼べるものであり、すぐ前後に事情が提示されているので理解が容易である。しかし、(10d)(10e)の場合、事情説明は明瞭な形で示されていない。あえて事情を明瞭にせず話者の側に事情があることを暗示させて、その状況推測を聞き手に委ねていると言ってもいい。このような手段をとることによって、かえって話者の側の断固たる意志を表明しようという表現意図があると考えられる。「わけははっきりと言えないけれども、こちらにはこちらの事情がある」として拒絶している。「やめることはできない」で表現しきれない部分はこのような話者の心的態度を伴う点である。上の各例は「やめることはできない」で代用できないことはないが、そうすると話者の側の事情の存在を暗示する機能が生じない。「わけにはいかない」だけが持つこのような独自の機能については、次節以下でも考えることにし、ここではもう少し用例にあたって「事情」の分析を進めたい。

- (11) a. 僕の同居人が40度近い熱を出して二日間寝込んだ。おかげで僕は彼女とのデートをすっぽかしてしまうことになった。今にも死ぬんじゃないかといった苦しみ方だったし、放ったらかして出かけるわけにもいかなかった。 (村上春樹『蜚』)
- b. しかし、心臓は大人のを小さくするわけにはいかない。子どもが心臓移植を受けるための渡航は、当面続きそうだ。 (朝)
- c. 相手が目の前にいれば、興味がない話だからといって、あくびをするわけにはいかない。 (朝)

(11a)は人道的な理由から、(11b)は物理的な制約で、(11c)は人間社会のルールを理由とした不可能性を示している。これらは(10a)～(10c)と同様に普遍的な事情であり、絶対的条件と考えられるが、次のように属する時代背景や社会環境によって変化しうる条件もある。

- (12) a. 私は長男のヨメ。法事に集まってくる人たちの世話や遺品の整理もあった。
さっさと帰るわけにはいかなかった。 (朝)
- b. 農業にしがみついても、生きていけるだけの収入を確保できる当てがなく、かといって先祖代々の土地から逃げ出すわけにもいかない。 (朝)

その人の置かれた社会的な立場からの発言と考えられるが、これらは時には本人の頑固な思い込みとさえなる。「長男のヨメとしての立場」「先祖代々の土地への責任」といった発想は時代によって変化するものであるだろうが、その発想への理解がなければ発話内容を正しく把握することができない。次の例も同様で、絶対的制約というよりその社会特有の制約であると言える。子どもが自立する年齢、会社員の退社時間などは時代や属する社会によって異なった価値観があるだろう。

- (13) a. 二十歳になったからには、もう親に頼るわけにはいかない。
 b. 五時になったからといって、すぐに退社するというわけにはいかない。

子どもはその社会の中で成長するにつれて社会性を身につけていく。その社会性こそが「わけにはいかない」の発話を可能にする原動力である。子どもは親からその社会で要求される行動に関するしつけを受けると共に、言葉の使い方についても学習していく。

- (14) 「アンパンマンの魚釣りセット、買って」

「ダメよ。この前土瓶蒸しセット買ってあげたばかりじゃない。そんなに次々に買うわけにはいかないの」

「魚釣りセットほしい」

「ダメ、おもちゃばかり買ってるわけにはいかないの」

「どうして」

「お金がないからよ。ものを買うにはお金を払わなくちゃいけないでしょう。そのお金がそんなにたくさんないの」
 (お金物語)

わがままを言うてはいけないという社会ルールを知ると共に、時にはその社会特有の「もの道理」を習得する。社会常識やルールに関する知識、立場をわきまえた言動が要求される社会の中で、子どもは次第に「わけにはいかない」ことの本当の意味を認識することになる。逆に言えば、「わけにはいかない」事情を分析すれば、その社会のルールが見えてくると言ってもいいだろう。子どもは社会性の発達と並行して言語能力を身につけていくわけだが、第二言語としての日本語学習者は母国語で既にとられている概念を再認識するためにどのような過程を経ていくのだろうか。

4. 「わけにはいかない文」の語用論的考察

本節では「わけにはいかない」の対人機能を明らかにすることを目的として、主として対話例を対象にして観察することにした。

- (15) 「おみやげだよ」 (毛皮のショールを差し出して)

「先生、こんな高価なものをいただくわけにはまいりませんわ」 (OL進化論)

プレゼントの受け取り方に関するルールは属する社会によって異なるだろうが、いずれにしても何の理由もなく高価なプレゼントを受け取ることは適切な行為とは考えられない。「こんな高価なものをいただく」という表現によって感謝を示しつつも「わけにはいかない」を用いて強く拒絶している。相手からの過分の申し出に対しては、はっきりと拒否することが丁寧さのルールにかなっていると言える。次の例も同様である。

- (16) 「写真代をお払いしなくちゃあ」

「何をおっしゃるの。そんなものをもらうわけにはいかない。私が趣味で撮ったものなんだから」

「でも、そうはいきませんわ」

(ジジババ列伝)

- (17) 「あ、そうか。お金わすれてたね」

「おごったげるよ」

「そういうわけにはいかないよ。いくら?」

(高校教師)

次は「依頼に対する断り」の機能を持つ対話例である。

(18) A: 先生, すみませんが, 辞書を貸していただけませんか。

? B: 悪いけど, 今使っているところだから貸すわけにはいかないんです。

ここでの使用は何か違和感があり, むしろ「悪いけど, 今使っているところだから……」のように文末を省略するのが普通であろう。文末を表現するにしても「できないんです」を使った方がいいのではないだろうか。相手の丁寧な依頼に対して「貸すわけにはいかない」という応答は高圧的な感じがする。しかし, 次の例では「わけにはいかない」が相手の依頼に対する断りの機能を適切に果たしている。

(19) A: あと少しお安くしてもええませんか。

B: これ以上はお安くするわけにはいかないんです。

「わけにはいかない」の使用によって, 販売店側の事情の了解を求める表現となり, 一個人としての店員の判断ではないことを示す。状況から判断すると, それが唯一の選択肢であるという説得力さえ発揮することになる。「私はそうしたいのだが, 当方の事情からそれが不可能である」との弁明になる。ある行為選択の責任を自分で負うことを回避する表現⁸⁾は日本語の中にしばしば見られるが, 「わけにはいかない」もその機能を担うことがある。(18)と(19)とをよく観察すると, (19)では販売店側の事情の存在があるのに対して, (18)の場合は個人の事情にのみ基づいているという点に違いがあることがわかる。「今使用中だから貸せない」というような理由に基づいているなら「わけにはいかない」を使う必要がない。使うとかえって何か強い拒絶感を与えてしまう。「わけにはいかない」という表現は, ある時には話者の強い意志表明となり, ある時には状況から判断してやむを得ない選択であることを伝える働きをする。いずれの場合でも単に不可能であることを表現するにとどまらず話者の心的態度を示す。

次に, 話者の心的態度とはどのようなものであるかについて考えてみたい。それは「わけにはいかない」の前成分の意味内容によって変化する。(15)の「高価なものをいただく」というような望ましい事態であれば, 「そのことは望ましいことであるが, 実現しないのは残念だ」という話者の気持ちを示す。次の例では帰宅が遅いことを妻に責められて言い訳をしている話者の複雑な心のうちを表していると思われる。

(20) 「こんな時間まで何してたのよ。今日は何の日か知っているの?」

「わ, わかっているさ! こっちだって断るわけにはいかんのだ」(課長島耕作)

残念な気持ち, フラストレーション, 板挟みの感情などを表現している。これらの文における主語は通常は一人称であるが, 相手の許可を求める場合など「許してあげるわけにはいかないのでしょうか」のように二人称主語となることもある。三人称主語となる場合「社長は『負けるわけにはいかない』と語った」「社長は負けるわけにはいかないようだ」のような文末表現を必要とする。次の例では前成分の動詞が望ましくない事態を示す。

(21) a. 同じ地球で凄惨な殺し合いが続いているのを見過ごすわけにはいかない。(朝)

b. 「負けるわけにはいかない」と静かに闘志を燃やす。 (朝)

これらはその事態を何としても避けたいという話者の強い意志を表明することになる。(21a)は「すべき推論否定」と考えられるのに対して、(21b)は「なるはず推論否定」という違いがある。この点を考慮して、次の表1と表2では②と③との二種に分類することにした。既に述べたように、自然な推論のプロセスを否定するためには「話者の強い意志」あるいは「動かしがたい状況」といった強い動機付けが必要になる。「わけにはいかない文」の働きは「話者の意志力」と「状況の支配力」との力関係によって決定され、更にはその前成分の意味内容によっても変化する。前者については表1に、後者については表2に示す。

【表1】 2種の推論否定と意味決定要因

	状況の支配力 ←————→ 話者の意志力	
すべき推論否定	① 休むわけにはいかない	② 悪事を許すわけにはいかない
なるはず推論否定	④ 万事OKというわけにはいかない	③ 負けるわけにはいかない

【表2】 表現機能と共起成分

論理関係	表現機能		前項の例 ¹⁰⁾ と	評価 ¹¹⁾	共起する副詞的表現例
すべき推論否定	① 断り, 言い訳	動詞 ～る ～ない ～ている	仕事をやめる 休暇をとる	プラス	残念ながら/あいにく しぶしぶながら
	② 動作回避の意志		悪事を許す 不正を見過ごす	マイナス	絶対に 意地でも 断固として 何としても メンツにかけても
なるはず推論否定	③ 状態回避の意志		負ける 立ち遅れる		
	④ 短絡的思考戒め	名詞 ⁹⁾ +という	万事OK めでたしめでたし	プラス	必ずしも/いつでも すべて

5. お わ り に

日本語の教科書には次のようなモデル会話文が載せられている。

(22) 佐藤先生「せっかく日本へ来たんだから、少し難しいクラスにチャレンジしてみる方がいいと思いますけどね」

スーザン「それはそうですが、予習や復習にものすごく時間がかかって。ほかに日本文学と現代史と社会学のコースを取っていて、どのコースもけっこう宿題が多いので、日本語ばかり勉強するわけにはいかないんです。この調子だと学期末になってどうなるか心配です」 (中級の日本語)

ここで、スーザンは佐藤先生のアドバイスに対する反論として「わけにはいかない」を使っている。スーザンは先生のアドバイスを一応受け入れた上で、「それはそうですが」という表

現で反論している。「わけにはいかない」という文型は初級後半から中級にかけての日本語学習者にとって必須の重要項目とされているのが一般的であるのだが、実際に学習者がこの文型を使った発話を行っているのを観察することは残念ながらごく稀である。上記のスーザンのような内容を表現する時、「日本語ばかり勉強できないんです」で済ませてしまう学習者がほとんどであろう。しかし、そのような発話がなされた場合でも、決して誤用ではないだけに教師を初めとする母国語話者からの否定的フィードバックが得られることは少ない。そのために、誤用というよりはむしろ非用が問題となる言語表現のうちの一つだと言えよう。

日本語学習者が中級以上の表現文型を獲得していくためには、文脈の中でさまざまな概念をとらえていくことが大切である。特に「わけにはいかない」の場合、前後の文脈の理解が不可欠であるが、例えば次のような文脈提示により(11a)のような発話を導けるのではないだろうか。

- (23) あなたはルームメイトといっしょにアパートに住んでいます。あなたには最近、ガールフレンドができました。今日は彼女との初めてのデートの日なので、うきうきしています。駅の前で夕方の6時に待ち合わせて、コンサートに行くことになっています。コンサートの切符は2ヵ月前に買っておきました。今日は早めにアパートに帰ってシャワーを浴びてから、新調したばかりのスーツを着て出かけるつもりでした。ところが、アパートに帰ってみると、あなたのルームメイトは急に病気になっていました。熱をはかると40度近くありました。今にも死ぬんじゃないかと思うぐらい苦しんでいます。あなたはどうしますか。

このような文脈提示に使用される日本語を理解可能なインプットとするための工夫が必要であることは言うまでもない。それでも尚且つ目標とする発話が導けない場合には、第2節で示したような論理関係に着目した問答を繰り返して理解を深めていくのがよいだろう。第4節の表に見られる①「すべき推論否定」を導入の糸口として③④「なるはず推論否定」へと展開していくのが望ましいと思われる¹²⁾。本稿における「『わけにはいかない』わけ」についての考察が、初級日本語学習者が中級段階へと言語運用能力を伸ばすための教室活動の中で生かされることを期待したい。

〈注〉

- 1) 尾上(1999)では、「よう行かん」「行かれへん」の大阪弁のうち前者を能力不可能文、後者を状況不可能文であるとしている。
- 2) 本稿での「わけはいかない文」は「わけにいかない」「わけにいくまい」「わけにはいかなかった」等すべての活用形と語尾を含むものとする。
- 3) 当為推論否定というプロセスをわかりやすく提示するために対話文の形をとっている。これは必ずしもこのような問答がなされるというわけではない。話し手本人がこのようなプロセスによる自問自答をしている場合もあるだろう。例を挙げると。
 - ・目的地はかなりの山奥で十数年前までは民家が五軒あったが、今はだれも行かないほど寂れた所だという。かといって行かないわけにはいかない。
 - ⇒ A: 目的地は寂れた所だそうです。

B：そんなところなら行かない方がいいですね。

A：いいえ、そういうわけにはいかないんです。

Bは必ずしも聞き手とは限らず、社会一般の常識人の反応と考えることもできる。

- 4) 哲学では当為とは「現にそうあること、必然的にそうなること」に対して、「かくあるべし、かくすべしと要求されること」と定義づけられている。当為推論否定としての「わけにはいかない」に関する説明はその一面しかとらえていないのではないか。
- 5) 「ないわけにはいかない」の形式をとるもののうち、感情や思考などを表す動詞と共に使われるものについては別扱いをする必要があるだろう。「感じる」は話者自身の感覚を表わすのに対して「感じないわけにはいかない」の場合はその周辺の事情や状況から必然的に生じた感情を示している。やむにやまれぬ自然な感情の発露であるという意味合いを持つこれらは論理関係とは無縁のものであると思われる。
- 6) 森田 (1980) には「成り行き、当然の結末へと進むことが社会的、法律的、道徳的、心理的などの理由から認められないときや、思い通りに事が運ばないとき『……わけにはいかない』の言い回しをとる」という簡潔で要領を得た解説がある。
- 7) (朝) は朝日新聞を指す。以下同様。出典が示されていないものは筆者の作例。
- 8) 話者本人の自己責任を回避するために「ことになる」が使われるのに類似している。

A：29日はどう？

B：その日はちょっと都合がつかないよ。

A：じゃ、5日は？

B：妹とお茶会に行くことになって……

(OL進化論)

- 9) 「名詞＋というわけにはいかない」という形態がいつも④の用法になるとは限らない。
- ・「遠くてたびたびというわけにはいかなかった」 (①の用法)
 - ・「いつまでも赤字というわけにはいかない」 (③の用法)
- 10) 前項の例をそれぞれもう少し次に挙げておく。
- ① 早く帰るわけにはいかない / 自分だけ得をするわけにはいかない
 - ② 恥をさらすわけにはいかない / 後へ引くわけにはいかない
 - ③ 泣き寝入りするわけにはいかない / 国際金融の孤児になるわけにはいかない
 - ④ 365日健康というわけにはいかない / 一件落着というわけにはいかない
- ③は「負ける」のように望ましくない結果の状態を示す動詞が用いられる。
- 11) 「わけにはいかない」の前成分で示される内容を話者がプラス評価しているか、マイナス評価しているかを表す。たとえば「会社をやめる」という事態の善し悪しを問題にしているのではなく、話者の期待に沿っているかどうかを判定するものである。
- 12) 日本語の教科書で取り上げられている「わけにはいかない」は一般的には「すべき推論否定」のものが多いが“Intensive Course In Japanese (Intermediate)”では次のような「なるはず推論否定」の文が扱われている。
- ・どちらのふすまをあけても隣の部屋というわけにはいかなかった。

参 考 文 献

- 尾上 圭介 (1999) 「大阪ことば学」 創元社
- 澤田 治美 (1999) 「語用論と心的態度の接点」(月刊言語第28巻6号) 大修館書店
- 寺村 秀夫 (1984) 『日本語のシンタクスと意味Ⅱ』 くろしお出版
- 野田 春美 (1997) 『「の(だ)」の機能』 くろしお出版
- 近藤いね子他 (1986) 『プログレッシブ和英中辞典、第二版』 小学館

森田良行 (1980) 『基礎日本語』 角川書店

劉 向東 (1996) 「「わけた」文に関する一考察」(日本語教育88号) 日本語教育学会

例 文 出 典

朝日新聞社『朝日新聞 Digital News Archives For Library』(1985~1999)

秋月 りす『OL進化論』 講談社漫画文庫

清水 義範『お金物語』 講談社文庫

——『日本ジジババ列伝』 講談社文庫

野島 伸司『高校教師』 青春文庫

弘兼 憲史『課長島耕作』 講談社漫画文庫

村上 春樹『蜩』 新潮文庫

矢島 正雄『人間交差点』 小学館文庫

日 本 語 教 科 書

Akira Miura & McGloin Naomi Hanaoka (1994) An Integrated Approach To Intermediate Japanese :
The Japan Times

Mutsuko Endo (1987) Supplementary Grammar Notes to An Introduction To Modern Japanese : Ann
Arbor Center for Japanese Studies : The University of Michigan

Yukiko Sakata (1980) Intensive Course In Japanese (Intermediate) : Japanese Language Promotion
Center